

事業名	アマノリ養殖概況(増養殖技術研究)
予算区分	県単
事業実施期間	平成12年度～
担当者	(環境増養殖担当)加藤慎治
共同研究機関等	

<目的>

本県の基幹産業であるアマノリ養殖業の生産状況を把握する。

<方法>

漁業者から生産状況について聞き取り調査を行うとともに、徳島県漁業協同組合連合会における共販実績を整理した。

<結果>

例年どおり育苗～本養殖が開始されたが、高水温に伴う生育不良に加え魚類による食害により、秋芽網の生産は不調であった。さらに本養殖開始後はユーカンピアの増殖により漁場の栄養塩が枯渇する状況が長期間継続したことから、色落ち被害が発生した。特に県南漁場では色落ちが著しく生産不調であった。2月以降は北部漁場でやや栄養塩が回復し生産が持ち直したものの県南漁場では色落ちが続き、不調のまま終漁となった。

令和2年度漁期の生産枚数は32,908千枚で前年比133%と数量は前年を上回ったものの、色落ちによる品質低下から平均単価は7.82円/枚と前年比64.7%であった。

<今後の課題>

得られたデータから不作原因を推定し、養殖指導の材料とする必要がある。

<次年度の計画>

引き続き生産状況の把握に努める

<結果の発表・活用状況等>

特になし

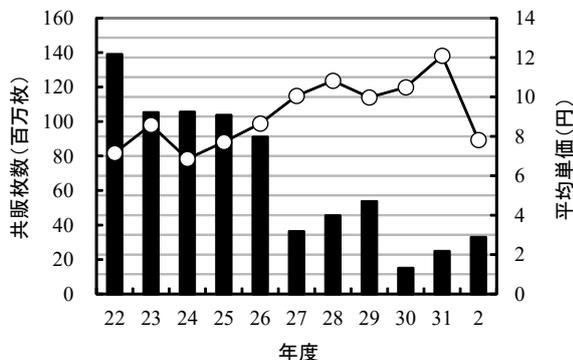


図1. 年度別共販枚数と平均単価の推移

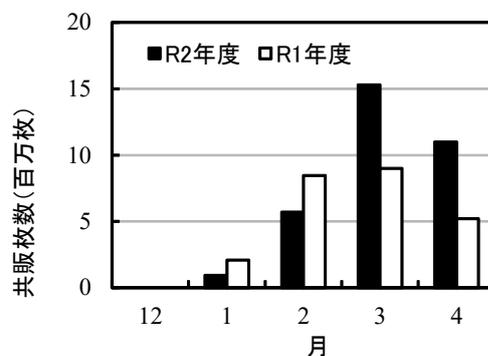


図2. 共販枚数の経月変化